



一般質問……P 2～7

決算審査……P 8～10

議会ニュース……P 11

町議会審議結果……P 12～13
9月定例会

委員会等の動き……P 14～15

インタビュー……P 16

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



マウンテンバイクコースをオープンさせた大雪山森林保全協議会のみなさん(左:立石さん、中央:田中さん、右:中村さん)関連インタビューは裏表紙(p16)へ!

町政を問う

一般質問

9月定例会は4人が質問しました

- P 2～ 昔農議員 「町内における有害鳥獣対策の強化について」
P 4～ 湯川議員 「人口減少が進む中で上川町の今後のまちづくりと関係人口の増加の構築について」
P 5～ 宮本議員 「上川町における予防接種体制について」
P 6～ 小林議員 「『国際観光の町宣言』上川町について」
「夏の蛾の駆除について」

※質疑の要点のみ掲載しております。

熊対策

緊急銃猟のマニュアルづくりを

町長 関係機関・住民と話し合い、マニユアルとエリアマップの作成を進めて行く

町内における有害鳥獣対策の強化について



町内の箱罾にかかったヒグマ。農業被害はもちろん、市街地への侵入についても懸念される

昔農議員

本町において、熊や鹿などの有害鳥獣により、多くの農業被害が発生している。特に近年は熊の市街地への出没が発生しており、道内でも死亡事故があった。改正鳥獣保護管理法の施行により、市街地において「緊急銃猟」が9月1日から可能となった。

実施にあたっては多くの課題もあると思われる。緊急時における住民の安全の確保、農業被害も含め、対策強化を図る必要があると考えるが町長の考えを伺う。

Q. 「一般質問」ってなに？

A. 議員が町政の現状や方針を問うものです。議員の思う政策や展望も語ることで、貴重な場です。



せきの まさはる 議員
昔農 正春

町長

本町の有害鳥獣による農作物被害は、6年度は総額で7千万円を超え、市街地ではヒグマの出没事案も発生している。町としても深刻な被害を未然に防ぐため、猟銃による駆除について、地元猟友会と協議を進めている。今回の法改正による「緊急銃猟」では、市町村長が捕獲の実施主体となり、猟銃を使った捕獲・駆除を実施できる仕組みが盛り込まれた。

町民への避難指示や通行制限の実効性、夜間の際の安全

確保の問題、発砲による誤射や損失補償など多くの課題が残っている。

現時点では制度を運用することは困難と判断しているが、課題の解消に努めるとともに地元猟友会をはじめ関係団体と早急に協議を進めていきたい。

昔農議員

市街地への熊出没は毎年発生しており、他人事ではない。万が一に備える必要がある。

また、地域住民にも協力いただきたいながら、市街地の草刈や生ごみのゴミ出しルールの徹底など、熊の侵入を未然に防ぐ対策等も必要である。

警察や猟友会はもちろん、ぜひ住民も加えた検討委員会を設置し、有事の際の実施体制、役割分担など総合的な対応マニュアルの作成を早急に進めるべきだと思う。

町長

熊をそもそも市街地に入らせない対策も重要であり、地域の方々の協力が必要だ。地域住民も交えた議

論の場を作り対応を進めて行きたい。

マニュアル作りは間違いない必要だと思うので進めていきたい。

市街地においても撃てる場所は限られてくると思う。場所を確認の上マップ化し、警察とも連携しながら住民の安全・安心を確保していきたい。

昔農議員

「緊急銃猟」を進めるうえで心配されるのがハンターの安全確保と身分の保障だ。特に、市街地での発砲は危険性が増大するので、万が一の事故が発生した場合、刑事責任がハンター個人に及ばないことが重要である。

道内の町村で、ハンターの身分を会計年度任用職員として確保している情報もあるが、本町においても、ハンターを会計年度任用職員や非常勤職員として委嘱できないか。

町長

国・道が主体的となつて取り組んでいただくということを、しっかりと要望していきたいかなければならない。上

川管内の町村会でも重要な問題として取り上げられている。

また、ハンターの身分に対して、本町では「上川町鳥獣被害対策実施隊員」として委嘱をしているが、非常勤職員ではない。非常勤の取り扱い制度が見直され、公務災害に加入させることが難しくなってきた。

町長の指示のもとで何かあった場合に、補償がないのはあり得ないと思っている。補償できるような形で進めていくので少し時間を頂きたい。

昔農議員

農業被害対策だが、被害額は7千万円を超え、約7割が熊と鹿によるものだ。対応策の一つとして、駆除頭数を増やすことがある。7年度の鹿の駆除申請頭数は332頭だが、猟友会に話を聞くと、もっと増やすことが可能だそうだ。

ハンターは現在12名で若い方も増えてきている。ただ、若いハンターは技術向上のため定期的に射撃練習が必要だが、弾の価格が高騰してお

り、中々思うようにできない状況だと聞いている。町として、担い手育成のための支援策の拡充を検討してほしい。さらに、被害対策に有効な電気柵の設置に向けた支援策も、併せて考えてほしい。

町長

今もハンターの研修費は予算計上しているが、さらに要望があれば検討したいので、猟友会と協議したい。鹿の捕獲頭数についても、予算を超える場合は、しっかりと対応していければと思う。

また、電気柵の設置については、面積もあり、どのように対応すべきか農業者の方々と協議していきたい。

昔農議員

来年度予算に向け、ぜひ検討してほしい。町民の安全・安心の確保を最優先に農業被害対策も併せて、町として可能な対応策を進めてほしい。

(終)

まちづくり

「ふるさと住民登録制度」に先行して取り組んでは

町長 ふるさと会等との関わり強めていく

人口減少が進む中で上川町の今後のまちづくりと関係人口の増加の構築について



札幌で行われた「ふるさと応援大感謝祭」に上川町を応援する多くの人が集まった

湯川議員

上川町では人口減少が進行中であり、2030年には2600人まで減少する見込みだ。高齢化が進む中、主要な産業においては労働力が不足し、雇用状況の改善も難しい状態にある。さらに観光産業では従業員の不足により宿泊能力に影響が出ており、商工業や農林水産業でも事業の継承に課題が見られる。

一方で、上川町は北の山岳リゾートとして「感動人口1億人プロジェクト」を推進しており、最近では起業促進や空き家・空き店舗の再生などに取り組み、徐々に成果を上げている。

国は地方創生2.0を掲げ、定住人口や交流人口ではなく「関係人口」の拡大を目指して、個性を生かしたまちづく



湯川 秀一 議員

りを進めており、その一環として「ふるさと住民登録制度」の創設が提案された。

上川町もこの制度に早急に取り組むべきだと思うが、町長の考えを伺う。

町長

上川町は、北の山岳リゾートの実現を目指して、感動人口1億人を目標に、地域おこし協力隊制度を活用した起業促進や地域活性化に取り組んでいる。

具体的には、大都市圏からの人材活用、さまざまな利用者の交流を促進する施設整備などが挙げられ、これにより継続的に町を支援していただく仕組みを作っている。また、訪問者が外部から人を呼ぶ連鎖的な行動を促すなどの効果も生まれている。

今後は「ふるさと住民登録

制度」を導入することで、2拠点居住の推進や地域の担い手確保につながる取り組みを進めたい。

特に上川町を応援するコミュニティの形成や、ふるさと会や応援団との連携強化が重要だ。また、観光客のリピート率向上やふるさと納税制度による寄付者の拡大も目指しており、町の魅力をさらに高める施策に力を入れていく。具体的には国の制度の詳細が明らかになり次第、検討していく。

ふるさと住民登録制度ってなに？



住所地以外の地域に継続的に関わる人々(関係人口)を登録し、地域活性化を図るための、国の新しい制度です。地域のファンや、地域に仕事で来ている人が登録することで、地域の情報を受け取ったり、一部の行政サービスが受けられたりできるようになります。

関係人口の方々や地域とのつながりを強め、継続的な応援をもらうことがねらいです。

湯川議員

これまでの地方創生への取り組みは、成果が上がっていると思うが、多くの町民からは急激な変化で見えづらいようだ。

また現時点で関係人口の目標数はあるのか。またどのような分野の関係人口を増やそうと考えているのか。

町長

町民の方々が急激な変化に戸惑いを覚えていることは承知している。官民連携が強まってきているが、そこに町民の方々がうまく融合させていくことが私の役割であると考えている。

例えば「上川学園構想」「みんなが輝くまち事業」等を通して、上川町にもともといる方と新しく来た方とが関わりあっていくことが大切だ。

目標人数として感動人口1億人を目指し「感動人口」という言葉自体も商標登録をしていきたい。

今年に関係人口の方々と取り組みとして上川大雪祭というアートイベントを行った。来年は絵本学会の全国大会が

開催される予定である。上川町がこれまで不得意だった芸術、文化などの分野も取り入れ、新たな町の魅力としていきたい。

湯川議員

「ふるさと住民登録制度」については国の制度が決まってから取り組みとのことだが、町独自の先行事例となるような施策を、予算

予防接種

接種の判断に迷わぬように詳しい情報提供を

町長

ホームページ等改善していきたい

上川町における予防接種体制について



予防接種には打つべき時期や副作用等の注意事項もあり、情報は複雑だ

も含め検討すべきではないか。特に町出身者で町外に居住している方を対象として行うべきでないかと思う。

町長

この制度にはまだ課題があり、住民登録された方に町が情報提供するだけの、一方的なものになる懸念がある。

私としては東京上川会や札

宮本議員

町のホームページには現在10種類の予防接種が載っており、おもに、手順や金額についての情報が中心になっている。ワクチンを打った方がいいかどうかは自己判断によることになるが、判断材料にするために、もう少し解りやすく整理された情報があった方がいいのではないか。

幌ふるさと応援団の感謝祭など、「ふるさと住民登録制度」について上川町は先取りしていると思っている。

このような上川町を応援してくれる方々に、具体的に町にどのように関わって頂くかご意見を聞きながら進めていきたい。

(終)



みやもと たかよし 議員

町の努力の結果、带状疱疹ワクチンの自己負担額は、他町と比べても非常に低価格で、町の真摯な取り組みがわかる。带状疱疹ワクチンや、高齢者肺炎球菌ワクチンなどは、対象者に直接案内があり分りやすいが、もう少し判断材料になる情報があればいいと思う。全町民に対しても広く分りやすい周知が必要と思う

が、今後の対応について伺う。

町長 町のホームページや広報誌には予防接種に関する情報を掲載しているが、主に対象者や手続き、費用負担という内容が中心になっている。「接種を検討する判断材料」という点には、更なる工夫の余地があると考えている。

町民が自らの健康を守るための判断材料になるよう、予防接種についての、疾病概要、ワクチンの効果、副反応の可能性などをわかりやすく整理し、情報提供していきたい。接種の可否に迷われる場合は、主治医または町保健師にご相談いただきたい。

宮本議員 予防接種や疾病予防の対応では、保健師を含め医療センターを中心としての対応は充分なものであると考えている。

ただワクチンには公費補助の期間が決められているものがある。期間を過ぎると基本的には全額自己負担というこ

となのか。

町長 基本的には、負担の少ない形で接種して頂くよう勧めていきたい。

ただ、財源の関係もあるが、

国の補助がなくなっても町としての役割を考えながら、施策は進めていきたい。

宮本議員 各個人が自分の思い込みを第三者の方に話

観光

町長 層雲峡に、にぎわいを取り戻すには 他1件として整えていく
観光戦略を策定し、魅力ある滞在拠点

「国際観光の町宣言」 上川町について



観光客を迎える層雲峡商店街は、街灯の暗さや空き店舗などの課題がある

小林議員

上川町は「国際観光の町宣言」を掲げているが、観光客数の増加とは裏腹に、層雲峡の商店街では閉店が目立ち、夜になると街灯が暗くて歩く人も少なく、にぎわいが戻っていない。町として今後どういう展望を持っているか。

町長

観光はコロナ禍から少しずつ回復しており、黒岳ロープウェイの利用者数も増え、夏のイベントではにぎわいが見られるようになってきた。しかし、商店街では

して、接種の判断に誤解を生むようなことがないようにするためにも、周知方法を含め、情報提供や啓発をお願いしたい。

(終)



こばやし つくお 議員
小林 健男

閉店や老朽化が進み、夜の暗さや活気のなさが課題だ。

町としては「北の山岳リゾート」を将来像に掲げ、関係団体と協力して観光戦略を策定中である。商店街活性化も含め、魅力ある滞在拠点を整えていきたいと考えている。街灯の明るさについては、国立公園の環境に配慮しつつ、環境省と協議し改善策を検討する。

小林議員

滞在拠点の整備を考えた場合、黒岳の湯では高齢者用の椅子が足りず、

利用者が不便を感じている。改善できないか。

また観光の魅力を高めるために、写真ミュージアムの展示を充実させたり、商店街に足湯を設置したりする工夫が必要だと思う。

さらに冬の除雪体制についても心配の声がある。観光客が安心して歩ける環境を整える必要があるのでは。

町長

黒岳の湯について

では指定管理者と協議しながら、高齢者が利用しやすい環境整備を検討する。写真展示は技術的な課題もあるが、工夫できる方法を探っていく。足湯については、観光戦略の中で検討していければと思っている。

冬の除雪に関しては、プロムナードに小型除雪機を導入し、観光客が安心して歩けるよう体制を強化する。

(終)

夏の蛾の駆除について



今年は蛾が大量発生し、夜間は街灯や店舗の照明に集まっていた

小林議員

夏に大量発生

する蛾(特にマイマイガ)の影響で、商店やコンビニの店頭が大きな被害を受けている。観光客からも敬遠されるほど深刻な問題だ。駆除対策はどのように進めるのか。

町長

蛾については、

今年も7月を中心に大量発生し、街灯周辺や商店で被害が出た。

町では薬剤散布や噴霧器の貸し出しを行い、一定の効果を確認した。ただ、成虫になつてからの駆除は難しいため、卵や幼虫の段階での対策を重点的に進める。

議会を動画で見ることができます！
！ YouTube の議会チャンネルへアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで

【上川町議会チャンネル】

と検索してみてください。



※マイマイガは木の幹や壁に卵塊を産む。ヘラなどを使い、こそげ取るようにして駆除する

蛾の問題は町だけでなく町民の協力も不可欠だ。補助制度を活用しながら、早期の駆除を徹底し、来年以降の発生を抑えていきたい。(終)

意見書を5件提出しました

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 (提出者 泉議員)
- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書 (提出者 小林議員)
- 特別支援学校の過大過密の解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書 (提出者 瀧上議員)
- 地方財政の充実・強化に関する意見書 (提出者 昔農議員)
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書 (提出者 瀧上議員)

**86
億円**

町のデジタル化・幼保一元化 すすむ

**決算
審査**

令和6年度の上川町の決算額（歳出）は総額86億1,165万円。そのうち一般会計は61億5,640万円、特別会計は16億5,852万円、企業会計は7億9,673万円となりました。今回は町の予算の中心となる一般会計予算について詳しくお伝えします。
(1万円未満は記載を省略しています)



地元資源を活用した授業

教育費 魅力を高め生徒を集める

**地元高校の存続に
2,043万円** ※高等学校費

魅力的な授業や入学支援金等の費用助成で生徒を増やし、高校存続につなげた。

土木費 公営施設の老朽化待ったなし

**施設の長寿命化に
1億7,832万円**



外壁を直した公営住宅

公営施設の老朽化が目立つ。6年度は旭町団地の外壁工事や、金竜橋等の橋梁補修工事を行った。

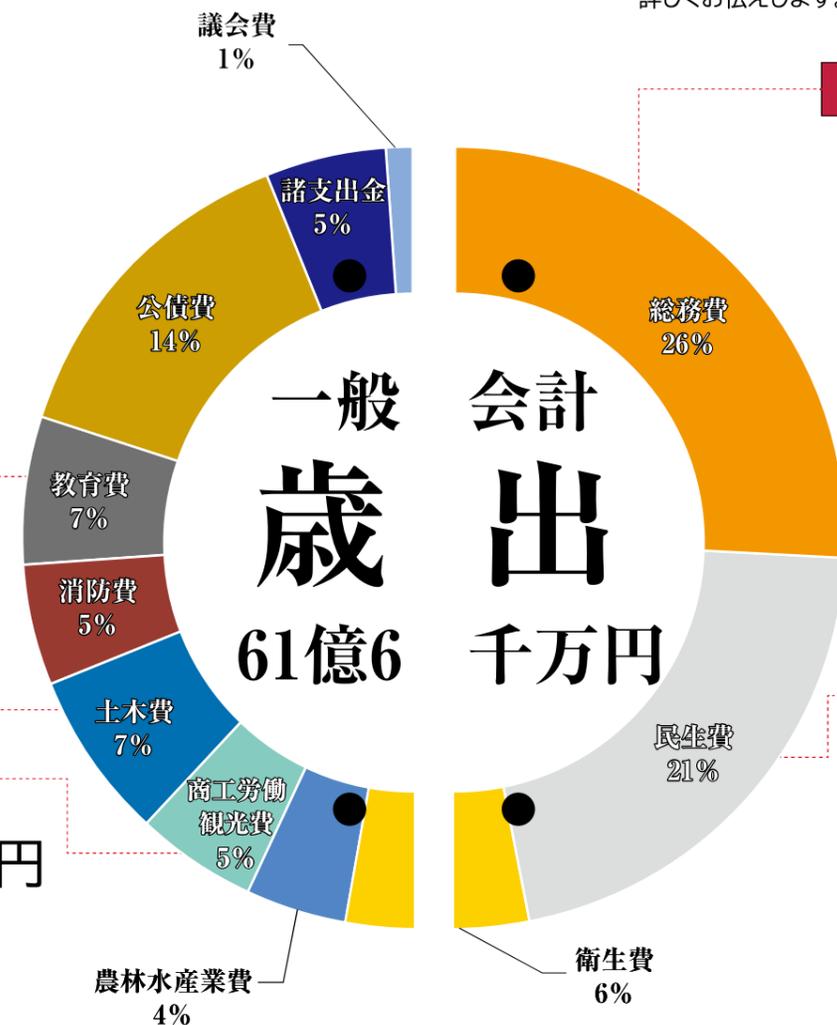


外国人向けに多言語ガイドを取り入れた火まつり

商工労働観光費 地域全体の観光力を高める

DMO運営に2,751万円

魅力ある観光地づくりを推進するために、DMO大雪山ツアーズ(株)への運営費補助を行った。



総務費 行政のデジタル化で暮らしを便利に

コンビニ交付
2,231万円

コンビニで住民票や税証明を取得できるシステムを導入した。

くらしのアプリ
1,370万円

スマホで回覧板を閲覧したり暮らしに関わる情報を調べたりすることができるシステムを導入した。

コンビニ納付
182万円

町税をコンビニで納めることができるシステムの導入準備を行った。



“くらしのアプリ”

民生費 幼稚園と保育所が一体化

**こども園整備に
4億6,557万円**

町内の私立幼稚園2つと保育所をあわせ、教育と保育を一体的に行う施設として、認定こども園「ここふれ」を整備した。



認定こども園「ここふれ」

担当係長

「JOGMECにおいて《層雲峡の高原温泉地区・銀泉台地区》における環境影響調査及び地表探査調査が行われ、その調査結果についてはJOGMECのホームページにて公開されている。その結果をもとに各事業者で事業化の検討を行う段階である。」



議員は「」が気になる！

JOGMEC(独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構)

小林議員
奨学金滞納が570万あったが、貸し方に問題はなかったか

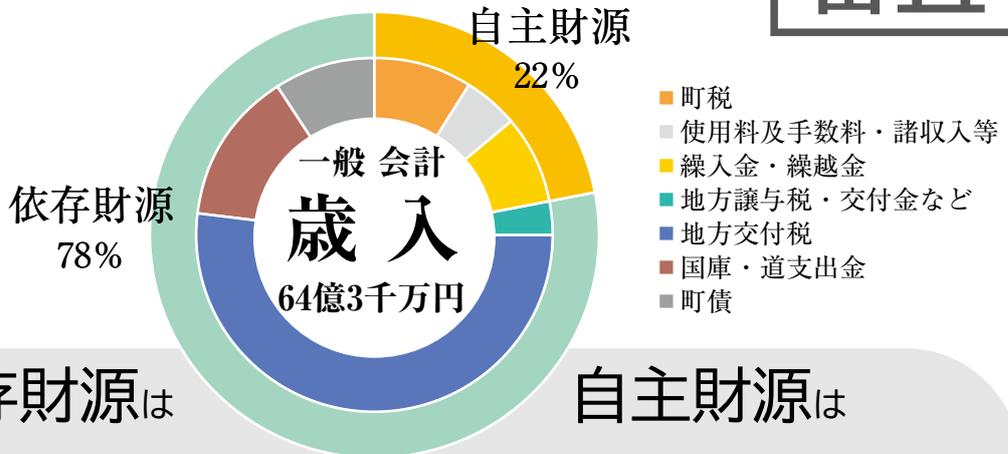


副町長
「奨学金の貸付をする際は、しっかりと審査会を開き、貸付は妥当だと判断した場合に貸し付ける。」

しかし進学・卒業後の状況により、なかなか返済にいたらない場合もある。貸し付けた相手とよく相談し、償還だけできるように努めていきたい。」

決算 審査

令和6年度の一般会計の歳入は約64億3,134万円でした。そのうち町税などの町の純粋な収入（自主財源）は14億2,172万円で、国からの交付税や町債等の外部からくるお金（依存財源）は50億962万円となりました。



依存財源は

国・道・借入金に頼るお金です

Pick Up!
定額減税による減収分を
国が1,200万円補填

6年度、国の政策により住民税を1人あたり1万円減税する「定額減税」を行いました。その減収分は、国から地方特例交付金で補填されています。

Q. なぜこんなに依存財源が多いの？

A. 人口が少なく住民税などの自主財源が少ない過疎地域であっても、最低限維持しなくてはならないインフラ等は都市部と同様です。

日本のどこに住んでいても一定の行政サービスを受けられるように、地方交付税等の制度により、国から地方に財源の補填がなされています。

このため、地方に行けば行くほど、自治体の依存財源の比率が高まる傾向があります。

自主財源は

町税など、町で集めたお金です

Pick Up!
QRコードでかんたん納付
納付書発行数の55%で利用

5年度分納付書から QR コードを使った電子納付が可能となり、7年度にはコンビニ納付も開始されました。役場や銀行の営業時間外でも、インターネットやコンビニを使っでの納付が可能になりました。

納付者の手間を減らすことで、納付率向上を目指しています。



納付書に QR コードとバーコードを付与し、かんたん納付が可能となった

その他の 決算額

<input type="checkbox"/> 国民健康保険事業特別会計	歳入 4億8,904万円	歳出 4億7,877万円
<input type="checkbox"/> 後期高齢者医療事業特別会計	歳入 7,594万円	歳出 7,588万円
<input type="checkbox"/> 介護保険事業特別会計	歳入 5億8,387万円	歳出 5億 486万円
<input type="checkbox"/> 町立診療所事業特別会計	歳入 4億6,887万円	歳出 4億4,296万円
<input type="checkbox"/> 介護医療院事業特別会計	歳入 1億7,424万円	歳出 1億5,605万円
<input type="checkbox"/> 簡易水道事業会計 (水道事業収益)	1億9,491万円	(費用) 1億5,770万円
(資本的収入)	6,173万円	(支出) 2億 478万円
<input type="checkbox"/> 下水道事業会計 (下水道事業収益)	3億 620万円	(費用) 2億7,471万円
(資本的収入)	4,373万円	(支出) 1億5,952万円

議会 ニュース

DMO大雪山ツアーズ(株) と意見交換会を行いました！

9月3日の産業福祉常任委員会に、大雪山ツアーズ(株)をお招きしました。

設立後7年間の取り組みとして、外国人観光客のための多言語での情報発信（デジタルサイネージやスマホアプリ）や、電動バスの実証運行、海外プロモーションなどを紹介いただきました。また、農業・商工業との連携不足などの課題を抱えていることをお聞きしました。

議員からは「国際情勢次第で増減する外国人観光客でなく日本人をターゲットにしては」や「若者をもっと協議の場に加えては」などの提案がありました。



議員報酬について中川町議会 が視察にきました！

9月3日に「議員報酬」をテーマに、中川町議会改革特別委員会からの視察を受け入れました。

全国的に議員報酬の低さが問題となる中、上川町議会は上川管内ではいち早く議員報酬を改定しています。中川町議会からは、その改定経緯や、改定額の根拠等について質問を受けました。



まちづくりトーク 募集中！

「町政に対する議員の考えを聞きたい」

「とにかく議員と話してみたい！」

そんなご要望ありませんか？

まちづくりトークは、町民さんと議員との対話の場として始まった制度です。

《要件》

- ・ 5名以上の参加者が見込めること
 - ・ 開催場所を申込者にご用意いただくこと
 - ・ 時間は1時間30分程
- ※他要件あり



まずはお気軽にご相談ください。

(上川町議会事務局01658-2-4064)

議**案****審****議****結****果**

9月定例会

9月17日に開会し、会期は19日まで。財産の取得・処分3件、条例の制定1件、条例の改正6件、規約の変更3件、令和6年度一般会計ほか全8会計の決算認定、令和7年度一般会計ほか全3会計の補正予算などの41件を審議し、18日に閉会した。

可決議案等

■条例の制定

◎「上川町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例」の制定について

地域経済牽引事業者の固定資産税（対象施設のみ）を免除するもの。
⇒総務文教常任委員会に審査が付託され、12月定例会で採決を予定している。

■条例の改正

◎「上川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例」の一部を改正する条例について

基幹システムの標準化にあたり、住民登録外者のマイナンバーを一部の事務で利用できるようにするもの。

◎「上川町議会議員及び上川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」の一部を改正する条例について

国同様としている選挙運動の公費負担を、公職選挙法施行令の改正に併せ増額するもの。

◎「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の一部を改正する条例について

◎「職員の育児休業等に関する条例」の一部を改正する条例について

育児時間の取得パターンの多様化等、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員意向確認等に対応するもの。

◎「上川町公共下水道条例」の一部を改正する条例について

◎「上川町簡易水道事業給水条例」の一部を改正する条例について

通常町長が指定した工事業者しかできない給水装置・排水設備工事を、災害その他非常の場合に、他市町村長の指定した業者による工事を可能とするもの。

■財産の取得・処分

◎財産（総合行政ネットワークシステムサーバ機器等）の取得について

令和元年度導入のネットワーク機器等の保守終了に伴う更新整備。

◎財産（電子カルテシステム機器等）の取得について

端末機34台及び関連機器等の更新整備。

◎財産（上川町営牧野）の処分について

旭ヶ丘地区の町営牧野を、農業者の耕作地として売り払うため、処分するもの。



■認定

◎令和6年度一般会計ほか全8会計の決算認定について

決算審査特別委員会に審査を付託（p 8～10に特集ページ）後、全会計を認定。

Pick Up ! ち い き け い ざ い け ん い ん 地域経済牽引事業ってなに？

「町の特徴を生かした事業」で且つ「地域が経済的に潤うもの」のことです。今回の条例が成立すれば、この事業のための施設を新しく作った場合に、固定資産税が免除されるようになります。しかし地域経済牽引事業として認められるためには、事業計画を作成して北海道の承認を受け、事業の先進性について国の確認を受けることが必要となります。



■補正予算

◎令和7度上川町一般会計補正予算（第3号）

歳出の主な内容

	補正額	補正前の額	補正後の額
		1,871万3千円	60億7,879万6千円
総務費	1,692万9千円	民間賃貸共同住宅建設にかかる補助金の増、 固定資産税の更正に伴う過年度過誤納還付金の増 等	
民生費	20万2千円	腎臓機能障害者交通費助成金の増	
衛生費	18万円	火葬場火葬炉の修繕に伴う修繕料の増	
農林水産業費	62万8千円	農地改善対策事業の補助金の増	
土木費	58万7千円	借上車両破損による損害賠償金の増 等	
消防費	18万7千円	タイヤショベルリース料の増等	

質疑の様子??



溝口議員

借上車両の損害賠償のために補正ということだが詳細は？



淵上議員

固定資産税の更生が年をまたいで発生し、税を還付したようだが経緯は？



建設水道課長

高原温泉の道路作業のためユンボ（建設車両）を借りたが、倒木によって車両が一部損傷したため損害賠償となった。



税務住民課長

減築された建物について登記がされなかったため、減築前の評価額で課税したが、持ち主から申出があったため過納分を還付した。

◎その他特別会計補正予算

歳出の主な内容

	補正額	補正前の額	補正後の額
	介護保険事業特別会計	2,016万6千円	5億1,767万3千円
		高額介護サービス及び高額医療合算介護サービスの保険給付費の増減等	
国民健康保険上川町立診療所事業特別会計	147万7千円	4億7,971万7千円	4億8,119万4千円
		レセプト院内審査支援システム及び健診システムの改修に係る委託料の増	

■表彰・任命

◎上川町功労者表彰に伴う被表彰者の推薦について

自治振興功労として佐藤^{きどう}芳治^{よしじ}氏、産業経済功労として新井^{あらい}光雄^{みつお}氏を推薦することに同意。

◎上川町教育委員会委員の任命について

桜田^{さくらだ}紀子^{のりこ}氏の再任。



■規約の変更

◎「北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約」の変更について

◎「北海道市町村総合事務組合理約」の変更について

◎「北海道市町村職員退職手当組合理約」の変更について

各組合等の構成団体から「江差町・上ノ国町学校給食組合」が脱退することに伴う変更

■議員派遣

11月6日上川管内町村議会議員研修会

委員会の動き

総務文教常任委員会

▽8月21日

- ・大雪かみかわヌクモの6年度事業実績並びに7年度事業計画等について
- ・デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生タイプ）について
- ・企業版ふるさと応援寄附の活用について
- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金（第二世代交付金）について
- ・上川町財政の健全化について

大雪かみかわヌクモ

空間委員

リピーター客の獲得が重要と思うが、リピーター率は？



ヌクモは旧東雲小学校を改装した施設であり、廃校の利活用の事例として注目されている

担当係長

リピーター率の集計は行っていないが、リピーターの重要性については同意する。館長と検討し取り組んでいきたい

濱田議長

視察が増えていると思うだが、視察の際に料金をとってどうか。

担当係長

今のところ視察料はもらっていない。公益的な役割もあることを鑑み考えたい。もし視察料を取るならば、それだけの価値がある視察プログラムを構築していきたい

駅前商店街の再生活用

泉委員

企業版ふるさと応援寄



商店街の空き店舗をリノベーションし、町の活性化を図る

附金を使い、旧長栄堂を改修すること。他にも空き店舗があるなか、長栄堂に決めた理由は。

地域魅力創造課長補佐

寄附者である株式会社T S Iホールディングスと協議し、立地と再生費用等を総合的にみて選定した。

▽9月8日

所管事務に関する意見書審査

産業福祉常任委員会

▽7月25日

・工事等設計書の縦覧方法変更に係る試験運用の実施について

- ・大雪森のガーデンに係る6年度事業実績並びに7年度事業計画等について
- ・観光地づくり対策事業(DMO)について

大雪森のガーデン

湖上委員

ガーデン収入について、6年度実績が1500万円弱であるにも関わらず、7年度予算が1820万円と上がっている。達成見込みは。

産業経済課長

7年度から個人客の入園料(大人)が800円から1000円に上がり収入増の見込み。個人客の入込強化のため、SNS等を活用したPRも行っていく。

石山委員

ガーデン周辺にそば畑がある。そういった景観を生かした商品をガーデンショップに置いては。

産業経済課長

新しいお土産の開発を検討しており、景観にも結び付けて考えていきたい。

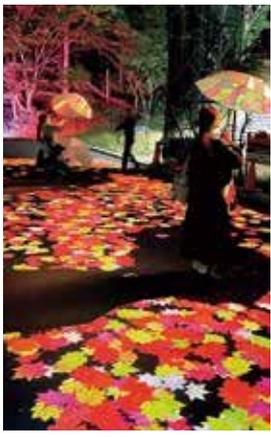
観光地づくり対策事業 (DMO)

洲上委員 6年度に町内飲食店と層雲峡各ホテルとの商談会を開催したそうだが、どのような内容か。

産業経済課長 町内飲食店等8事業者と、各ホテルの売店・飲料部門とで商談会・研修会を行った。

宮本委員 6年度決算の受託収益および受託事業費が約4200万円だったが、7年度予算は0円になっている。7年度は事業を行わないのか。

産業経済課長 6年度は北海道観光機構の補助金で、火まつりと秋のイルミネートの伴走事業を行った。



紅葉時期の層雲峡でのライトアップイベントには毎年多くの人が集まる

た。そのほか国からの補助金で、農泊推進事業やインバウンドコンテンツ造成支援事業も行い、決算額が増えた。
予算編成時期には見込がつかなかったため0円だったが、今年もそういった補助金を活用した事業を積極的に行っていくつもりだ。

湯川委員 農業・商工・観光の連携促進や、組織の見える化のため、例えば社長職を農・商・観それぞれの関係者で持ち回りにするなど新たな視点を取り入れ、活性化を図れないか。

町長 そもそも社長職に報酬が出ていない。まずは自主財源の確保に傾注してもらい、報酬が出せるような組織にしていきたい。

昔農委員 産業間の連携のために、トップの集まりだけでなく、実働する職員達が中心の会議等が有効ではないか。

町長 そういった場として、イノベーション推進協議会を設けているが、昨年は実質1回だけだった。今後活性化させていきたい。

▽9月3日

- ・認定こども園「ここふれ」の運営状況等について
- ・大雪レクリエーションの森並びに大雪森のホールの運営状況等について
- ・7年産農作物の生育状況について
- ・新型コロナウイルス予防接種費用助成事業について

認定こども園の施設不具合

洲上委員 いくつか施設不具合が出てきているようだが、改善費用はどこが負担するのか。

認定こども園長 オープンして間もない施設ということで、基本的には業者に負担して頂く。しかし業者にも予見できないトラブルや、業者に瑕疵がない場合は、町で予算措置し対応していく。



エアコン室外機からの結露水がテラスを濡らす等、施設の不具合が発生している

町営牧野(農地)の売り払い

洲上委員 土地評価額の1/2もしくは1/3を最低価格として売るとのことだが、町の収入を増やすために引き上げたほうがよいのでは。

副町長 元になる土地評価額は、近傍地の取引価格を参考に算定したが、近傍地と牧野との条件がかなり違う(傾斜が強い等)。スムーズな売り払いのためにも、そこを加味した価格設定をしている。

▽9月8日
 所管事務に関する意見書審査

議会運営委員会

▽9月11日
 上川町議会定例会の運営について

議会広報特別委員会

▽9月29日・10月14日
 議会広報第199号の編集及び校正について

表紙のこの人に聞いた!

一般社団法人 **大雪山森林保全協議会** さま

今年7月にオープンした町内施設の管理者「大雪山森林保全協議会」の理事3名の方にお話を聞きました。

—どんな施設ですか？

「レクリエーションの森」は大雪山のガーデンに隣接する施設で、自然の中でマウンテンバイクを楽しめるコースを設置しています。「大雪山のホール」は、旭ヶ丘の耕作地帯の中にある森林空間で、アートやコンサート等を行う場所として提供しています。

—オープン後の評判はどうですか

9月に大雪森のホールで「上川大雪祭」というアートイベントを開催し、多くの方が訪れました。

アーティストや美術関係者には、都会的なアートと自然の森とのコントラストを楽しんでいただき、アート活動に新たな展開が生まれる可能性を見出して頂けたようです。

—今後の展望は？

森林の多様な価値を引き出したいです。森林は木材の生産の場という認識が一般的で、町民の方からは「森を遊ばせず切つて木材にすべき」とのお声もあります。けれど私たちは、森が持つ価値は、それだけではないと考えています。

森はそこにあるだけで水を蓄えたり、土砂崩れを防いだり、多様な生物を育んだり、様々な環境を保全する機能があります。加えて、森にはフィトンチッド[※]等により、訪れた人に心地よさを与えるリラクゼーション効果もあります。また、上川大雪祭で実感した通り、森は何かと組み合わせられることで新たな価値を生み出すことができる「場」でもあります。

町有林は町民みんなの森です。どんな使い方がみんなにとつて本当に価値があるのか、町民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

※樹木の発散する香りの成分



議会の謎



「一般質問は事前に決まってるんですか？」

→ はじめの質問と答弁の内容は、議会前に作成されています。でもそのあとは…すべてアドリブです！



質問は議会の
5日前までに
文書で提出

じっくり考える

『第1質問』



町の答弁も
3日前目安に
文書で回答

じっくり答える

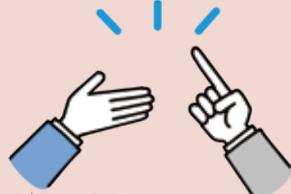
『第1答弁』

※日数は土日祝を除く

議会当日、第1質問・答弁
を読み上げたあとは

その場で発言し
その場で答える
真剣勝負！

町と議員とでお互いの
思いをぶつけあいます



制限時間
は**45分**

思いがあふれる

『第2質問・答弁～』